

# 後援会だより

「後援会だより」は、後援会が会員（保護者）の皆さまと作るページです。今回は、卒業生と保護者による「親子でつづる法政の4年間」をお届けします。



法学部  
粕淵 結花

## 選んだ道を正解にする

アジアの貧困問題への関心から、法学部国際政治学科に進学。そこから4年間は、選択の連続でした。結果的に留学経験のある台湾、中国・香港が研究対象の福田円教授のゼミを選び、猛スピードで発展する中国に魅了され、中国政治に関する論文を2本執筆しました。課外活動では350人規模のダンスサークルHSD（Hosei Street Dance）に所属。この選択は大学生活を一変させました。週の大半を公演練習やサークル員との交流に費やし、法政の代



HSDの引退公演。Tシャツは粕淵さんがデザイン



粕淵 美和

## 卒業に寄せて

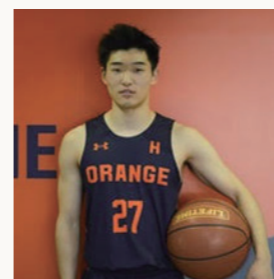
あなたが当たり前のように過ごしてきた日常は、周りにいらっしやる教員や職員の方々が、先輩、友人、環境が変わって離れて暮らしている父など、実にさまざまな方の恩恵があつてこそ成り立っていたものです。春からは新社会人ですね。今度はおあなたが一歩前を出て、その恩に報いる番です。ぜひ、就職活動の際に目標にしていた「一人に気付けられない魅力的な物（人）」に気付き、広める」を実現してください。心から、卒業おめでとうございませう。



経済学部  
原田 一真

## 感謝

大学4年間を振り返ると、本当に多くの支えがあり、その一つ一つに心から感謝しています。2019年4月、勉強とバスケットボールの両方に力を入れたという思いで、地元札幌から上京しました。しかし、部活動も勉強も順風満帆とはいきませんでした。部活動では激しいレギュラー争いで挫折を経験し、また2年次からはコロナ禍でキャンパスに行くことができなくなりました。先の見通しが立たない状況の連続でしたが、そのたびに両親やバスケ



川崎総合グラウンドの部室前で



原田 昌和

## 自身との闘い

北の大地から関東への道を決意して4年。それは期待と不安、そして未知なる可能性を思い描いた、人生の大きな分岐点であつたに違いない。この4年間、コロナ禍情勢はもろろんのこと、自身の努力に反し、多くの苦境に行く手を阻まれ、自問自答を繰り返したことだろう。しかしそこには、自分を取り巻く、数え切れぬほどの縁と支えがあり、苦難を乗り越え、救われたはず。その感謝を生忘れず、これまでの経験を糧に社会で大きく飛躍してほしい。



国際文化学部  
玉井 希実

## 感謝の気持ちを込めて

私の大学生活の大半はコロナ禍でしたが、その環境だからこそ得られたものもあつたと思います。例えば、スタディ・アブロード（SA）の中止で半年の留学がかなわなかった代わりに、より多くの授業を履修し、じっくりと学びを深めることができました。また、オンライン授業には、手元の授業資料を落ち着いて見られる、レポート提出の機会が増えて文章力が鍛えられた、などの利点もあつたと感じています。感染対策をしながらのゼミ活動でも、映像作品



ゼミの映像作品用に市ヶ谷キャンパスで撮影



玉井 裕子

## 卒業に寄せて

1年次はSAに備えてびっしり授業を取り、なかなか頑張るなあ、これなら海外でも大丈夫と思つていたところに、コロナ禍でSAが中止。でも、それならSAがあつたらできなかったことをやる！と切り替え、即実行した思い切りの良さに驚かされました。付属校の「二高」から培つてきた「自由と進取の気象」が、あなたを後押ししてくれたのかもしれないね。これからも支えてくださる方々への感謝を忘れずに、自分の道を進んでください。卒業おめでとう。



理工学部  
海老根 孝樹

## 価値観の破壊と生成

私は4年間「やりたいことは全部やる」の精神で、好奇心の赴くままにさまざまなことに取り組みました。中でも卒業研究は、特に私の人生を豊かにしてくれました。私の研究は福岡県八女市星野村を事例とした、キャリア教育による地方創生の実践研究です。現地に数カ月間滞在してフィールドワークを行いながら、地域が抱える教育的な課題の抽出、それを解決するための教材開発に尽力しました。その結果、現地の中学校校長が活動を評価して下さり、外



星野村学校での授業の様子



海老根 英樹

## 卒業に寄せて

武道館での入学式からもう4年。教員になることを夢見て始まつた大学生活でしたが、早い段階で目標を変更したのはちょっと意外でした。でも、それも成長の証しだと思えます。コロナ禍で行動が制限される中、変化する環境に適応して活動の幅を狭めることなく、全力で頑張っている姿を感じしながら見守っていました。社会に出てからも、さらに活動の幅を広げて頑張ってください。卒業おめでとう。

# 2022年度法政大学後援会表彰

後援会では毎年、学術・スポーツなどで顕著な成果を上げ、在学生をはじめ父母・卒業生など大学関係者に大きな感動を与え、本学の名を高めるのに著しく寄与した学生を表彰しています。

2022年度は、学術分野において難関試験に合格された33人、スポーツ分野において大きく活躍された5人が受賞し、鯨岡光男後援会会長から表彰状と副賞が贈られました。各受賞者のコメントは、後援会ウェブサイトに掲載しています。

## 公認会計士試験合格祝賀



鯨岡光男後援会会長から受賞者代表の吉沢直也さんに表彰状を授与

### 学術分野

#### 【公認会計士試験合格】

- 飯森 茜 (経営学部4年)
- 岩崎 光希 (経営学部4年)
- 鵜飼 颯大 (経営学部4年)
- 梅津 駿汰 (経営学部4年)
- 下西 郁也 (経営学部4年)
- 鈴木 雄大 (経営学部4年)
- 藤本 啓太 (経営学部4年)
- 向井 健人 (経営学部4年)
- 校條 太郎 (経営学部4年)
- 吉沢 直也 (経営学部4年)
- 薄井 太希 (経済学部4年)
- 森 翔麻 (経済学部4年)
- 小澤 勇太 (理工学部4年)
- 小田 裕太 (経営学部3年)
- 加賀田 未有 (経営学部3年)
- 清水 裕貴 (経営学部3年)
- 富山 魁斗 (経営学部3年)
- 松田 栞 (経営学部3年)
- 堀井 悠真 (経済学部3年)
- 畑山 雄飛 (人間環境学部3年)

#### 【国家公務員採用総合職試験合格】

- 久保倉 徳紀 (法学部4年)
- 大畑 翔 (法学部4年)
- 井上 航 (法学部4年)
- 谷口 元軌 (法学部4年)
- 別所 大庸 (経済学部4年)
- 石川 凌 (経済学部4年)
- 廣川 智也 (経済学部4年)
- 當間 康生 (社会学部4年)
- 東條 慧 (経営学部4年)
- 渡部 英治 (人間環境学部4年)
- 門口 紗也 (現代福祉学部4年)
- 木藤 凜紗 (デザイン工学部4年)
- 阿部 史和 (法学部3年)



### スポーツ分野

#### 【ゴルフ部】

- 森 彩乃 (経営学部4年)
- 2022年度JLPGAプロテスト合格

#### 【水泳部】

- 渡邊 夢乃 (スポーツ健康学部4年)
- 第98回日本選手権水泳競技大会  
アーティスティックスイミング競技  
フリーコンビネーション2位 他
- 日本アーティスティックスイミング チャレンジカップ2022  
チームテクニカルルーティン優勝

#### 【陸上競技部】

- 横地 大雅 (スポーツ健康学部4年)
- 2022日本学生陸上競技個人選手権大会  
男子110mハードル2位
- 第106回日本陸上競技選手権  
男子110mハードル8位

#### 【バドミントン部】

- 小川 翔悟 (経済学部4年)
- 宮 滯里 (人間環境学部4年)
- 第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス  
選手権大会優勝 他

## 法政大学後援会事務局

〒102-0073  
東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F  
TEL:03-3264-9350  
FAX:03-3264-9367  
E-mail:koenkai@hosei.ac.jp



後援会ウェブサイト  
<https://www.hosei-koenkai.org/>



GIS (グローバル教養学部)  
南出 さくら

### 挑戦の4年間

学生じゃないと経験できないことをしたい!という願望を胸に上京した私が出合ったのは、総合エントラーテインメントショーの企画・運営をする学生団体。「キラキラして楽しそう!」という思いで始めた活動は、楽しいだけでなく、仲間とのつながりの大切さを教えてくれました。

まだコロナ禍の続く3年次には副代表に挑み、今までに経験したことのない責任感と楽しさを味わいました。最初は学業と両立させられるかと不安でしたが、より多

くの学生に人とのつながりを感じてもらいたいと思い、その役割を全うしようと決心しました。

また、共通語が英語のGISでは、入学当初から挑戦の連続でした。学外で課外活動をしていいため、キャンパスで過ごす時間は少なかつたけれど、一緒にテスト勉強や課題に取り組み、学生生活を存分に楽しめたのは、友人の理解と協力があつたおかげです。

挑戦に対して前向きになれた大学の4年間を糧に、これからも挑み続けられる人間でいたいです。



副代表時代に手掛けたイベントの本番当日



南出 太

### さくら 卒業おめでとう

コロナ禍で制限の多い中、精いっぱい学びや生涯の友達ができましたか?

法政大学で得たものは、これからの人生の中で、最高の財産となるでしょう。

東京で芽吹き、社会で大きく咲かせてくださいね。

京都から東京へ出た娘に、思いをうまく伝えることができませんでした。それはこれからも同じです。

この春は「さくら」の青春、第2章の始まりの時。心からエールを贈ります。



理工学部  
畑島 志哉

### 研究と出合ってから

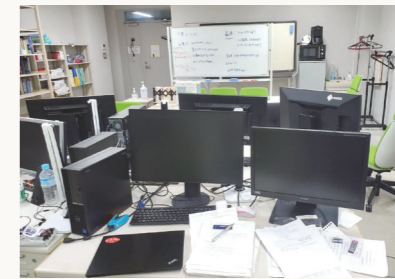
入学した頃はいいかげんな面も多く、進路も考えず、学業もおろそかになりがちでした。

しかし3年次の研究室配属で「離散最適化」という分野を知ると、勉強が急に楽しくなりました。特に「グラフ理論」に大いに興味を持ち、卒業研究ではそれに関する研究を行いました。

さらにこの分野の研究を深めたいと考えるようになり、大学院進学を決意し、他大学の大学院を受験することに決めました。受験ではこれまで学んでいない内容を一

から学習する必要があり、不安な気持ちで取り組みましたが、無事合格することができました。また卒業研究を学会で発表する機会をいただき、自分の研究に価値を見いだせたことがとてもうれしかったです。

離散最適化の分野を教えてください、受験時に他大学の大学院の情報や先生を紹介してください。高澤兼二郎准教授には大変感謝しています。大学院へ進学してからも、先生に教えてもらったことを生かしていこうと思います。



小金井キャンパスの離散システム研究室



畑島 久美子

### 自分の夢に向かって

希望に満ちた入学式が、つい先日のようです。1年生の2月、新型コロナウイルスのために、生活が一変してしまいました。不安な毎日が思い出されます。

その中でも、自分で楽しみを見つけて、自分の夢を実現させようという気持ちで、たくましく成長を感じました。大学院への進学に向け、自分で考え行動し、希望をかなえることができましたね。自信につながり、これからの自分の財産となるでしょう。

卒業おめでとう。これからも応援していきますね。